

学 ぶ 楽 し さ 無 限 大 !

自由大学通信

創刊号 平成 15 年 5 月 15 日発行

発行 武蔵野地域自由大学事務局 武蔵野市吉祥寺本町 2-5-10 TK 吉祥寺ビル 8F
0422-20-6340

開学式を開催しました！



4月11日(金)武蔵野公会堂で「武蔵野地域自由大学開学式」を開催しました。

第一部の開学式において、長倉学長、土屋市長が式辞を、来賓として東京都教育庁生涯学習スポーツ部長鈴木雅久氏よりご挨拶をいただきました。

第二部開学記念シンポジウムでは「これからの生涯学習社会 武蔵野地域自由大学に期待するもの」をテーマにパネルディスカッションを行いま

した。文化庁文化部長の寺脇研氏に参加していただき、長倉学長、齋藤諦淳武蔵野大学学長、市長をパネリストに、柳井道夫成蹊大学学長にコーディネーターを務めていただきました。約300人の参加者が熱心に聞き入り、時にパネリストのユーモアに沸き、武蔵野地域自由大学で学ぶ楽しさを再確認し、みなさんの満足そうな顔が印象的でした。

長倉学長よりごあいさつ (武蔵野地域自由大学開学式より)



武蔵野地域自由大学学長の長倉でございます。

本日このようにたくさんの方々にお集まりいただき武蔵野地域自由大学の開学式を開催できますことを、大変うれしく、また心強く存じております。

武蔵野地域自由大学は武蔵野市と地域五大学の連携により、武蔵野地域の方々に生涯学習の機会を提供する新しいタイプの生涯学習システムです。優れた先見性を持って、生涯学習の重要性に注目され、多くの困難を克服して、このような新しい大学システムを実現された土屋市長さんをはじめ、武蔵野市のご関係の方々、また五大学の学長先生をはじめ、ご関係の教職員の方々のご尽力と英知に対しまして、深い感謝の思いと敬意を表する次第でございます。ありがとうございました。

同時に、学長といたしまして、責任の重いことを痛感しております。ご関係の皆様方、また、本日お集まりの方々のご支援とご協力によりまして、責任を果たしたいと存じております。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

今、我が国は激しい変革の時代、また高齢化社会を迎えて生涯学習の重要性はこれからますます大きくなるものと思われまます。この変革の時代の中で、構造改革の問題ひとつを取り上げてみましても、その実現にはまだまだ多くの困難があり、道半ばという印象を持っております。この問題に関連して、最近、学士会会報に掲載された、東大の神野教授の記事“人間回復の経済学”にふれておきたいと思ひます。

それは19世紀末の世界的な大不況期に北欧の

スウェーデンも経済的に困窮していましたが、「人間の能力を高めなければ経済は活性化しない」という国民的な運動が起こり、この国民的な教育運動のシンボルとして、ノーベル賞が創設されたということです。それは一つの象徴的なできごとと言えますが、その背後には今申しましたような、国民の教育に関する深い関心に基づく運動があったわけです。こうした国民運動に基づく学習グループというものが、それぞれの地域に生れてきました。この学習グループの活動とスウェーデン政府の「人的な教育投資こそが経済成長と雇用と社会的な正義を実現する」という理念にもとづく積極的な教育政策の実施が現在のスウェーデンの知的な社会を築づくことに深く関わったということを神野教授は指摘されているわけです。

我が国の現状につきましても、こうした面から大いに考え、地域の皆様の自発的な考え方による、スウェーデンの学習グループ的なもの、あるいは生涯学習的なものをもっともっと盛んにならなければならないと考えております。

いずれにしても我々の自由大学が、地域の方々の自己啓発による活力の向上 - 私は知力とか体力とか気力とかをまとめまして活力という言葉をごのりよく使いますが - に資する場として、また、現実の厳しさや、あるいは将来の夢や希望を語り合い、地域の人々の連帯感を深める場として、多面的に機能し、地域の活力の向上に貢献することを願い、また努力したいと存じております。重ねてご支援ご協力をお願いいたしまして私の挨拶といたします。どうもありがとうございました。

自由大学に学ぶ（自由大学生を紹介するコーナーです）

Live and Learn - 武蔵野地域自由大学応募の動機 -

橋本 勝さん

私は今年から武蔵野市の介護保険に加入し高齢者の一人として仲間入りしたのですが、昨年 12 月 15 日発行の武蔵野市報に掲載された武蔵野地域自由大学の応募記事には大変興味をそそられました。実は私は 1999 年 3 月末から丁度 2 年間 JICA（国際協力事業団）専門家としてモンゴル最大の発電所である第 4 火力発電所に経営並びに技術指導の目的で赴任しておりました。



モンゴルの発電所において、中央が橋本さん

国営株式会社であるこの発電所はモンゴルの総電力需要量の 70%、またモンゴルの首都であるウランバートル市内の暖房・温水エネルギー総需要量の 60% を供給する主力発電所であり、冬はマイナス 40 近くまで下がるモンゴルにあっては、この発電所がなければウランバートル市内が凍りついてしまう、まさに生命線でもある発電設備です。

しかしながら 1990 年のソビエト連邦崩壊後、この発電所を運営、技術指導をしてきましたロシア人技

術者約 230 名が 1991 年に一斉に帰国してしまい、それ以降ロシアからの部品の供給もとまり、連夜の停電と暖房用温水温度の低下が発生し設備は文字通り瀕死の状況にあり、ウランバートル市民の生活に深刻な影響を及ぼしておりました。しかしソ連の 2 次有償援助プロジェクトも始まり、残りの老朽化した設備の改修工事もスタートしたところです。

私は現在所属する会社（電源開発・国際事業部）で、この第 2 次有償援助プロジェクトのコンサルタント業務を担当する一員として参加しており、帰国後も引き続き当発電所の技術移転援助を担当しております。

技術移転の内容は発電所の財務管理、労務管理、環境管理、設備の運転管理、補修管理などモンゴル側から要請される範囲は多岐にわたりますが、私はもともと技術畑出身であるため財務・労務関係は体系的に勉強したことがないため、このたび武蔵野地域自由大学のプログラムの中から、自宅に近い成蹊大学を選び経済学部の 2 科目（アカウンティングと経済学特殊講座）を選択して勉強させていただくことにしました。

私の参画する第 2 次有償援助プロジェクトは 2005 年まで続きますが、この講座で得たものを活かして技術移転の質の向上を図り、数十年続いた社会主義体制から脱却して一気に市場経済化が進むモンゴルにあって、国の生命線である当発電所経営の近代化のため微力ながら国際協力に貢献できればとの一念から応募した次第です。

また、この自由大学で若い大学生の皆様との交流の場を通して、新しいものの見方を少しでも吸収し残された人生を心身ともに活性化して生き抜くことが出来ればこの上ない幸せと思っております。

モンゴルの発電所の全景



* 事務局ではこのコーナーに執筆していただく自由大学生を募集しています。掲載希望の方は自由大学事務局までご連絡お願い致します。

事務局より 講座情報 1

* 自由大学生なら電話一本で申し込めます！

自由大学生の方でこの講座を希望する場合は5月 23 日までに自由大学事務局(電話 0422 - 20 - 6340)へ、ご自分の学籍番号、お名前、連絡先電話番号を知らせていただければ、往復ハガキで申し込む必要はありません。

5つのキャンパスで知的探求してみませんか？「武蔵野地域五大学共同教養講座」

平成9年から開催している講座で、五つの大学のキャンパスを4回ずつめぐります。幅広く学ぶことにより、皆様のこれからの研究テーマを発見するきっかけになると思いますので積極的にご応募ください。

時間：午後1時30分～3時。

対象：武蔵野市内在住・在勤・在学の方及び武蔵野地域自由大学に登録の方。

定員：100名。

費用：5000円(資料代)。

申込：往復ハガキに住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業、電話番号を明記して、5月23日(必着)までに生涯学習スポーツ課「教養講座」係(〒180-8777 住所不用)へ申し込むか、ハガキを持って、直接生涯学習スポーツ課へ。

問い合わせ：生涯学習スポーツ課(60-1902)

全20回の連続講座です。一大学のみ受講はできません。

回	期日	テーマ	サブテーマ	場所	講師
1	6 / 7	日本経済の再生	不思議な経済大国日本	武蔵野大学	高村寿一 現代社会学部教授
2	6 / 14		機能不全に陥った「成功システム」		
3	6 / 21		デフレからの脱出は可能か		
4	6 / 28		借金大国の年金と暮らし		
5	7 / 5	認知心理学へのいざない - “見る・読む・わかる”とそのしくみ-	“この眼で見た”のはほんとうに正しい? - 知覚の認知心理学 -	東京女子大学	今井久登 文理学部助教授
6	7 / 12		憶えていること、忘れること - 記憶の認知心理学 -		
7	7 / 19		“わかったつもり”と“わかる”の違い - 理解の認知心理学 -		
8	7 / 26		くらしの中の認知心理学		
9	9 / 6	おもしろ科学最前線	ナノの世界に行く - やさしいナノテクノロジー入門 -	成蹊大学	佐々木成朗 工学部講師
10	9 / 13		ロボットはどのようにして行動するのか		小方博之 工学部助教授
11	9 / 20		IT最前線:ネットワークを通じて協調するコンピュータたち		甲斐宗徳 工学部助教授
12	9 / 27		DNAからタンパク質へ		鈴木誠一 工学部助教授
13	10 / 4	食とは何か? その栄養機能と文化的意義	食と農と健康志向	日本獣医畜産大学	佐々木輝雄 応用生命科学部助教授
14	10 / 11		食肉成分の秘密を解き明かす		小竹佐知子 応用生命科学部助教授
15	10 / 18		食と健康		伊藤整 応用生命科学部教授
16	10 / 25		食品のおいしさを構成する要素とその意義		沖谷明紘 応用生命科学部教授
17	11 / 8	韓国文化への旅	祖先との絆(1)	亜細亜大学	金柄徹(きむびよんちよる) 国際関係学部助教授
18	11 / 15		祖先との絆(2)		
19	11 / 22		食文化		
20	11 / 29		言語と文字		

講座情報 2

今、気になるのは本当の安心です。

市民講座「心身の健康管理と家族の絆

- 現代社会の病理現象とその危機管理を考える - 」

知りたい情報があふれています！現代社会の抱えるさまざまな病理現象について、家族の絆の重要性について考えましょう。

場 所：武蔵野地域自由大学交流センター

(吉祥寺本町2 - 5 - 10 TK 吉祥寺ビル8階)

対 象：市内在住・在勤・在学の方及び武蔵野地域自由大学生

定 員：各部50名(超えた場合は〆切日後に抽選。先着順ではありません。)

費 用：無料

申込み：6月17日(火)までに武蔵野地域自由大学事務局へお電話で、

希望の部、学籍番号、氏名、電話番号をお伝えください。

(Tel 0422-20-6340 平日10時~5時)

電話で申込みができるのは武蔵野地域自由大学生のみです。

一般の方は、往復ハガキに、希望する「部」、住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、電話番号(在勤・在学の方は勤務先・学校名も)を明記して、6月17日(火)(必着)までに、生涯学習スポーツ課「市民講座」係(〒180-8777 住所不要)に送付するか、返信用ハガキを持って直接生涯学習スポーツ課へ。

問合せ：生涯学習スポーツ課(0422-60-1902)

第一部、第二部片方のみでも両方でも申込みます。ただし、自由大学での称号記授与要件としての講座数のカウントについては、3回以上の出席で0.5講座とします。

回	期 日	テーマ	内 容
第一部 櫻井 勝氏(成蹊学園保健管理センター所長)			午後6時~7時30分
1	7/1 (火)	現代テロ社会と 災害医療	相次ぐ社会不安と不慮の事態に備える災害医療について。(SARS、イラク戦争、米同時多発テロ、阪神淡路大震災、東海村原発事故、環境ホルモン等)
2	7/8 (火)	生命危機への反攻 ~その危機をどう生き抜くか~	体を蝕む疾病について、また病から自分自身を、家族を守るにはどうしたらよいか。(突然死、高齢者医療、健康食品ブーム等)
第二部 岩田 淳子氏(成蹊大学学生相談室カウンセラー)			午前10時30分~正午
3	7/12 (土)	家族発達のプロセス と家族の危機	家族の発達過程に沿って、家族の様々な問題について。(乳幼児虐待、青年期の悩み、中年の自殺の多発、老年夫婦の問題等の相談事例を交えながら)
4	7/19 (土)	よりよい家族の コミュニケーションをめざして	カウンセリングの考え方や方法について。聴き上手になるための体験学習。家族内でのコミュニケーションのあり方について。

* 第一部、第二部でそれぞれ曜日、時間帯が異なりますのでご注意ください。

講座情報 3

学生とともに学ぶ！ 武蔵野市寄付講座 15年度後期・3講座開講

後期の寄付講座を下記のとおり、亜細亜大学、成蹊大学、東京女子大学で、各1講座開講いたします。寄付講座とは、企業や個人が「奨学寄付金」として民間資金を大学に導入して開設する時限つき特設講座です。武蔵野市では平成11年に自治体として初めて寄付講座を成蹊大学に開設しました。現在、武蔵野地域の4大学で実施しています。9月下旬から毎週、全13～14回の講座で、大学の教室で各大学生と一緒に受講します。(内容・講師等について変更になる場合もあります。ご了承ください)

募集要項(3大学共通) 武蔵野地域自由大学称号記授与要件履修対象講座(講座数 1講座)

対象 18才以上の武蔵野市内在住・在勤・在学の方及び武蔵野地域自由大学生 全回出席できる方

費用 5,000円(資料代) **定員** 50名(超えた場合は抽選)

申込方法 武蔵野地域自由大学生の方は、電話でお申込ができます。

6月10日(火)より受付 0422-20-6340 武蔵野地域自由大学事務局へ
平日10時～17時 しめきりは8月12日(火)です。(先着順ではありません。)

学籍番号と、お名前、寄付講座の希望大学名、連絡先電話番号をおしらせください。

一般の方の申込は7月より(7月15日号市報掲載)往復はがきに、希望大学、住所氏名、年令、性別、電話番号、(在勤在学の方は勤務先・学校名も)を明記の上、8月12日(必着)までに生涯学習スポーツ課(〒180-8777住所不要)宛となります。

注意事項 応募者数が定員を超えた場合は、一般申込もあわせての抽選となります。

受講決定通知後、顔写真2枚、健康診断書、同意書の提出が必要となります。

健康診断書は3か月以内、胸部レントゲン診断結果、医師の総合所見のあるもの。

定期検診を毎年受けている方はコピー可(平成14年4月1日以降に受診したもの)。

大学の聴講で、自由大学事務局に「健康診断書」を提出している方は不要です。

問合せ先 生涯学習スポーツ課 (0422-60-1902)

亜細亜大学

寄付講座 その1

「今日の地方自治」 (特殊講義)

9月30日～1月6日 全13回 火曜日 10時40分～12時10分

本講義では、今日の地方自治という社会的営みが現代社会の礎を築いていることを実感していただくため、私たちの暮らしにとって必要不可欠な地方自治の身近な問題を取り上げて共に考えていきます。講師陣には研究者をはじめ、地方自治体の首長、裁判所判事、弁護士など実務家を迎え、受講生の興味をひく多彩な内容です。

コーディネーター 室井 敬司(亜細亜大学法学部教授)

プロフィール 専門分野: 行政法

主な著書・論文: 「行政立法と越権訴訟」(東京都立大学法学会雑誌)

「越権訴訟の対象行為と出訴期間」(法律時報)

「情報公開の実務」(共著・第一法規)ほか多数

(日程等詳細は市報7月15日号に掲載予定です)

成蹊大学

寄付講座 その2

「グローバル環境 - 通信、ネットワーク、地球環境 - の変化」 (総合科目)

9月24日～12月17日 全13回 水曜日 16時40分～18時10分

科学技術の急速な発展に支えられた通信技術の進歩、ネットワーク網の整備による国境を超えた社会の構築には眼を見張るものがあり、明るい人間社会の将来が期待されている。一方、20世紀の技術進歩に伴う人類の生産活動の飛躍的拡大は国境を超えた地球環境の汚染を引き起こし、その解決には長い時間と国際的協調が必要である。ともに国を超えた環境の変化であり、空間的規模の大きさという点ではこれまでの人間社会が直面しなかった規模の変化である。最先端技術から社会・環境問題まで、科学技術の進展の及ぼす正負両面の影響を考察する。

コーディネーター 近重 悠一 (成蹊大学工学部教授)

通信の発展とテクノロジー 山口正泰 成蹊大学工学部非常勤講師

NTT サービスインテグレーション基盤研究所主幹研究員

- 9 / 24 「のろしから携帯まで」
- 10 / 1 「通信システムを支えるエレクトロニクス」
- 10 / 8 「光で伝わる「1」と「0」
- 10 / 15 「"ブロードバンド"の先に見えるもの」

ネットワーク社会の進展とその及ぼす影響 山中義昭 成蹊大学工学部非常勤講師

富士通ハワイ支社長、イトーヨーカ堂システム室長を歴任

- 10 / 22 「コンピュータの誕生からパーソナルコンピュータ(PC)の登場まで」
- 10 / 29 「コンピュータ活用の歴史、PCからインターネットの発展」
- 11 / 5 「ネットワーク社会とは何か?その普及による社会・企業・生活の変化」
- 11 / 2 「ネットワーク社会のメリットと問題点」

地球環境問題の深刻化とその克服

二宮洸三 成蹊大学工学部非常勤講師、地球コリア研究員、
元気象庁長官、元東京大学気候システム研究センター客員教授

- 11 / 19 「大気汚染と酸性雨」
- 11 / 26 「オゾン層破壊」
- 12 / 3 「気候温暖化」
- 12 / 10 「人災としての環境問題とその克服」

12 / 17 ま と め 近重悠一 成蹊大学工学部教授

東京女子大学

寄付講座 その3

「結婚の比較文化」 (総合講座・女性学B)

9月25日～1月8日 全14回 木曜日 13時15分～14時45分

7人の担当者が統計学、文化人類学、文学、社会学等の観点から、それぞれが専門とする地域の結婚を考察する。各国の現代の結婚事情を紹介し、その歴史的背景を概観すると共に、さまざまな国と時代における結婚のあり方を知ることによって、結婚制度を相対的に把握することが狙いである。感想・レポートを書いていただくことがあるかもしれません。

コーディネーター 北條 文緒(東京女子大学教授)

9 / 25	統計にみる結婚・離婚・非婚	杉山明子 元東京女子大学教授
10 / 2	中国における結婚	轟莉莉 東京女子大学教授
10 / 9		
10 / 16	韓国における結婚	矢野百合子 東京女子大学非常勤講師
10 / 23		
10 / 30	アメリカにおける結婚	佐藤宏子 東京女子大学名誉教授
11 / 6		
11 / 13	フランスにおける結婚	大島真木 東京女子大学教授
11 / 20		
11 / 27	イギリスにおける結婚	北條文緒 東京女子大学教授
12 / 4		
12 / 11	結婚をめぐる諸問題	加藤春恵子 東京女子大学教授
12 / 18		
1 / 8	担当者、受講者によるパネルディスカッション	

講座情報 4

“ふれあいでつなぐ動物の科学” 日本獣医畜産大学総合文化講座

時間：午後4時20分～6時。

対象：武蔵野地域在住・在勤・在学の方及び武蔵野地域自由大学に登録の方。

定員：100名（先着順）。

費用：無料。

申込・問い合わせ：日本獣医畜産大学 地域社会生涯学習委員会へ。

0422(31)4151 内線343

回	期日	テーマ	講師
1	5 / 16 (金)	ふれあいで生産するおいしい牛肉	木村信熙
2	5 / 30 (金)	親子のふれあいと愛情ホルモン	田中 実
3	6 / 13 (金)	ふれあい動物の栄養比較 ～家畜からペットまで～	時田昇臣
4	6 / 27 (金)	牧場の暮らし ～自然・家畜・人のふれあい～	秦 寛

1回だけの参加もできます。

武蔵野地域自由大学での称号記(学位)授与要件としての履修対象科目ですが、全4回中3回以上出席した方に「0.5講座」カウントいたします。

講座情報 5

自由大学ゼミのテーマをお聞かせください！



* 様々なテーマについて懇談会形式で議論する「自由大学ゼミ」を企画しています。

自由大学ゼミでは、自由大学生の方が議論したいテーマを題材にしますので、自由大学生の方で理解を深めたいこと、あるいは他の方の意見を聞きたいこと、議論したいことがありましたら、事務局までお知らせください。それぞれのテーマについて専門の先生をお願いし、参加いただくことを企画しております。

参加方法

* 皆さんの議論したいテーマを事務局までお知らせください。希望するテーマが多い順に開催したいと考えています。

* 自由大学生だけの講座です。

* 会場は自由大学交流センターです。

テーマの例 「中東問題について」「芸術について」「教育問題について」等々
詳細は決定しだいお知らせします。



お知らせ

武蔵野地域自由大学事務局は交流センターという名称です。その名のとおり自由大学生の方達が集い語らうスペースとしてお使いいただければと思います。

たとえば、学生同士のちょっとした打合せから、自由ゼミの開催、研究した成果の発表などのグループ活動はいかがですか。

印刷機があります。紙をお持込みいただければ、グループ活動での機関紙発行にも使えます。

交流センターの使用時間は、平日の午前10時～午後5時までです。

(土・日・祝日は交流センター休業で使えません。)

グループでの使用する場合は、自由大学生が半数以上いることが要件となります。

団体使用申込は随時、武蔵野地域自由大学事務局で受け付けております。

